



BUILDING
RENOVATION
AND NEW
CONSTRUCTION
REPORT
2014-2022

建物整備レポート

2014年～2022年



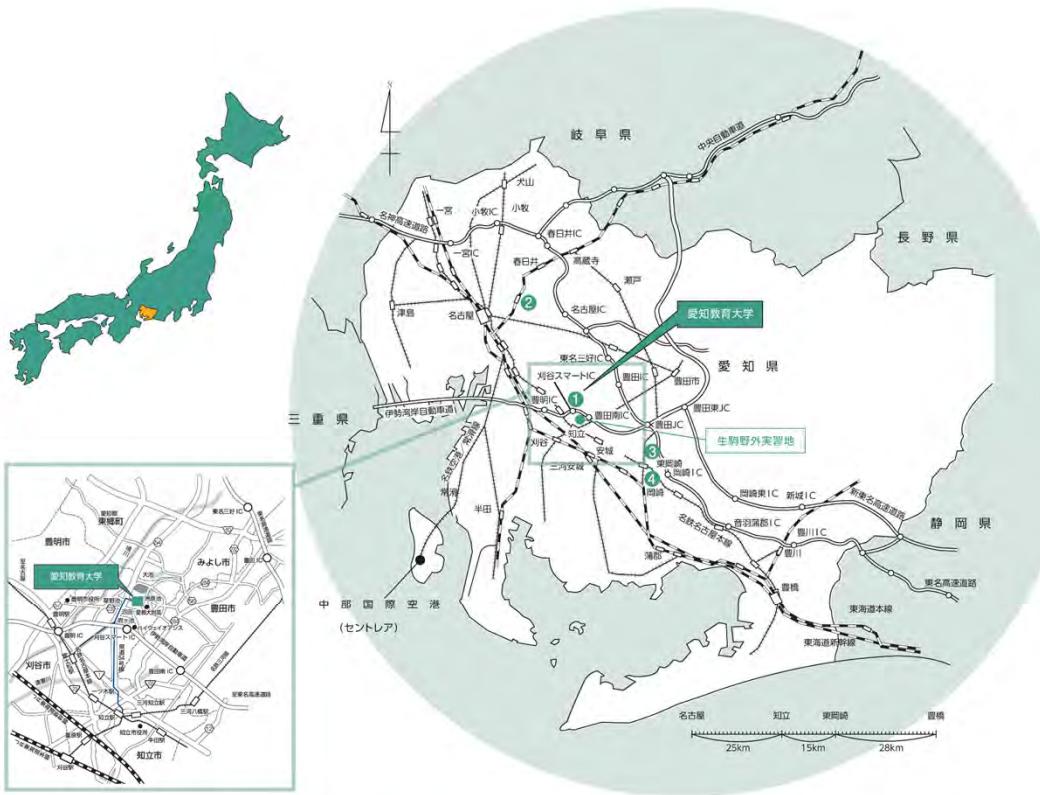
国立大学法人
愛知教育大学
AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

CONTENTS

各キャンパス、土地・建物の緒元、大学沿革	• • • 01
キャンパスマップ	• • • 02
井ヶ谷団地全景、2014年度～2021年度に完成した事業と現在予定の事業	• • • 04
教育未来館	• • • 05
美術第一実習棟、美術第二実習棟（現 美術・技術実習棟）	• • • 06
教育交流館	• • • 07
AUEスクエア	• • • 08
附属図書館	• • • 09
AUEセミナーハウス	• • • 10
次世代教育イノベーション棟	• • • 11
教育・人文棟	• • • 12
国際教育棟	• • • 13
自然科学棟・共同演習棟	• • • 14
美術・技術・家政棟	• • • 15
保健体育棟、養護・幼児棟	• • • 16
(大幸) 附属幼稚園園舎	• • • 17
音楽棟	• • • 18
井ヶ谷団地 ユニバーサルデザイン整備状況	• • • 19



各キャンパス、土地・建物の緒元、大学沿革



①刈谷キャンパス



土地	488,136m ²
建物	98,899m ²
構成員	
教職員	382人
学部学生	3,683人
大学院学生	265人
専攻科学生	32人
附属学校生	434人
計	4,796人

②名古屋キャンパス



土地	55,228m ²
建物	15,870m ²
構成員	
教職員	75人
附属学校生	1,193人
計	1,268人

③岡崎(六供)キャンパス



土地	64,348m ²
建物	11,034m ²
構成員	
教職員	58人
附属学校生	615人
計	673人

④岡崎(明大寺)キャンパス



土地	21,397m ²
建物	6,546m ²
構成員	
教職員	28人
附属学校生	432人
計	460人



キャンパスマップ

本部棟

本部棟 Administration Building
附属図書館 University Library
第一共通棟(学生サポートセンター) Lecture Building I (Student Service Office)
第二共通棟 Lecture Building II
講堂 Auditorium
大学会館 Lakeside Lounge and Assembly Hall
第一福利施設 Student Center and Cafeteria I
第二福利施設 Campus Cafeteria II
学生寮 Student Dormitories
国際交流会館 International House
文化系サークル棟 Student Activities Center
AUEセミナーハウス AUE Seminar House
守衛所 Guard's House
井ヶ谷荘 Visitor's Dormitory (Igaya-so)
健康支援センター Health Service Center
教育未来館 Future Educational Hall
教育交流館 Educational Communication Building
次世代教育イノベーション棟 Educational Innovation Hall
国際教育棟 International Education Building
体育館附属棟 Gymnasium Equipment Office
第一体育館 Gymnasium I
第二体育館 Gymnasium II
武道場 Martial Arts Gymnasium
トレーニングセンター棟 Training Center
教育実験実習棟 Botanical Laboratory
弓道場 Japanese Archery Gymnasium
共同演習棟 Communal Seminar Building
共同実験実習棟 Communal Laboratory Building
心理教育相談棟 Center for Psycho-Education Services



教育科学

教育支援棟Ⅰ Educational Support Building I
教育支援棟Ⅱ Educational Support Building II
養護・幼稚棟 School Health Sciences and Early Childhood Education Building
特別支援教育棟 Special Education Building

人文社会科学

教育・人文棟 Education and Humanities Building

自然科学

自然科学棟 Natural Science Building

創造科学

美術・技術・家政棟 Fine Art, Technology and Home Economics Building
音楽棟 Music Building
保健体育棟 Health and Physical Education Building
美術・技術実習棟 Art and Technology Laboratory Building
ものづくり実習棟 Manufacturing Laboratory Building
技術第一実習棟 Technology Laboratory Building I
技術第二実習棟 Technology Laboratory Building II
音楽練習棟 Music Practice Building

附属高等学校



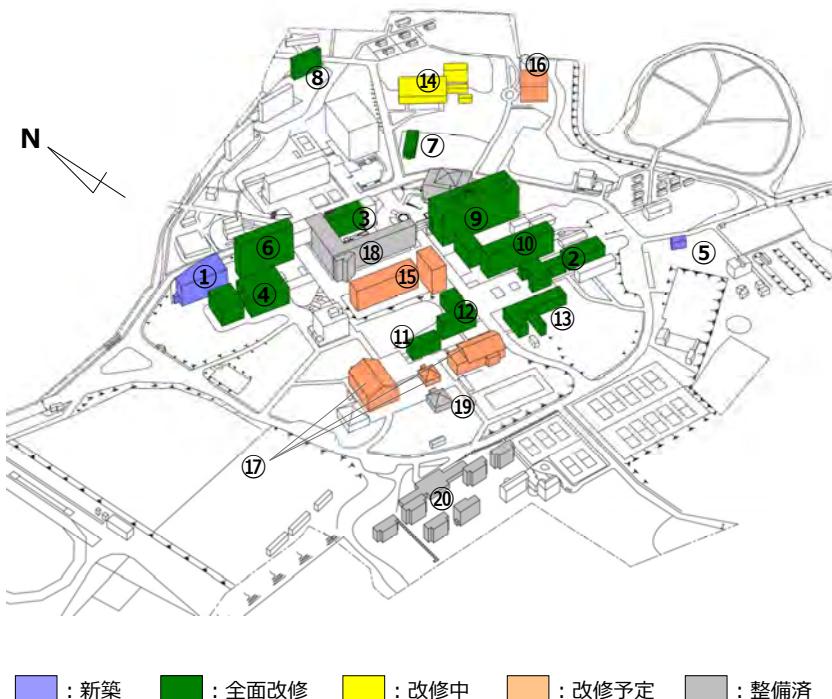


井ヶ谷団地全景、2014年度～2022年度に完成した事業と現在予定の事業

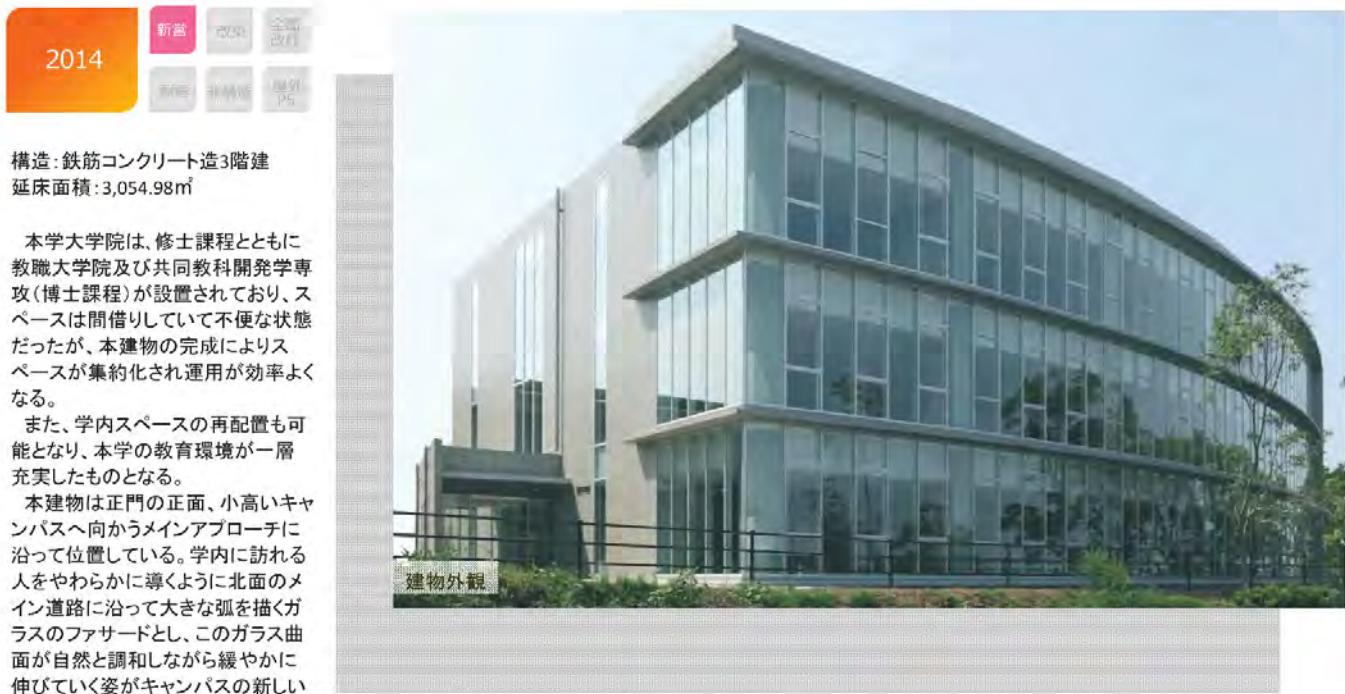


2014年度～2022年度
主な施設整備一覧と実施予定事業

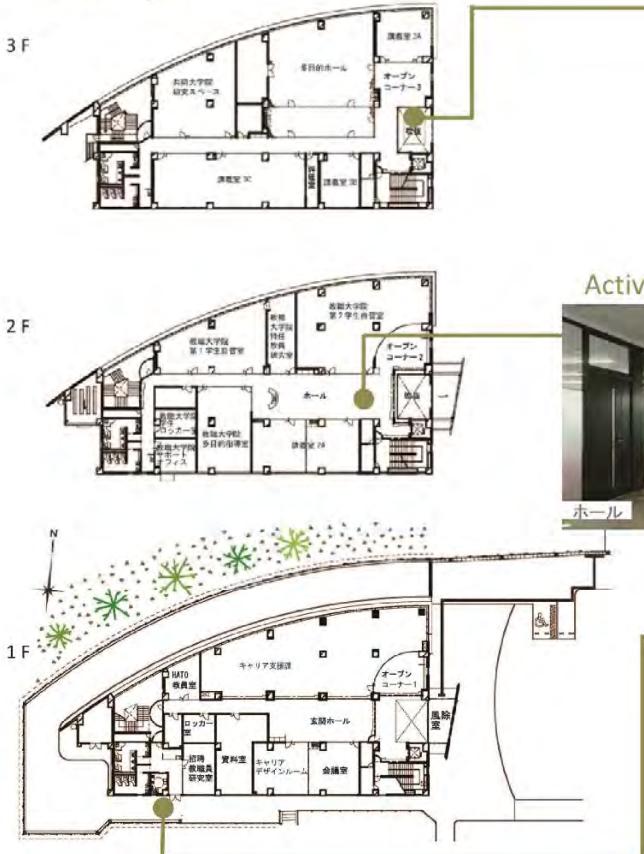
年度	整備建物
2014	①教育未来館 ②美術・技術実習棟
2015	③教育交流館・AUEスクエア
2017	④附属図書館
2018	⑤AUEセミナーハウス
2019	⑥教育・人文棟 ⑦次世代教育イノベーション棟 ⑧国際教育棟
2021	⑨自然科学棟、共同演習棟 ⑩美術・技術・家政棟 ⑪保健体育棟 ⑫養護・幼児棟 ・(大幸)附属幼稚園園舎
2022	⑬音楽棟
2023(予定)	⑭特別支援教育棟
2024～(予定)	⑮教育支援棟I, 第二共通棟 ⑯大学会館 ⑰体育施設(第一、第二体育館他)
整備済	⑲第一共通棟(2005年度) ⑲武道場(2013年度) ⑳学生寮(2011～2015年度)



教育未来館



Floor plan



Active learning



外部から吹抜上部へ抜ける自然な空気の流れを活かした自然換気システムの導入

Top Light



2階ホールは学生・教員のコミュニケーションアクティブラーニングの場。各所にホワイトボードやカウンターを配置し能動的な学習を誘発する。

Sustainable Design



土中・地下ピットに設けたエアダクトによる熱負荷低減

美術第一実習棟、美術第二実習棟（現 美術・技術実習棟）



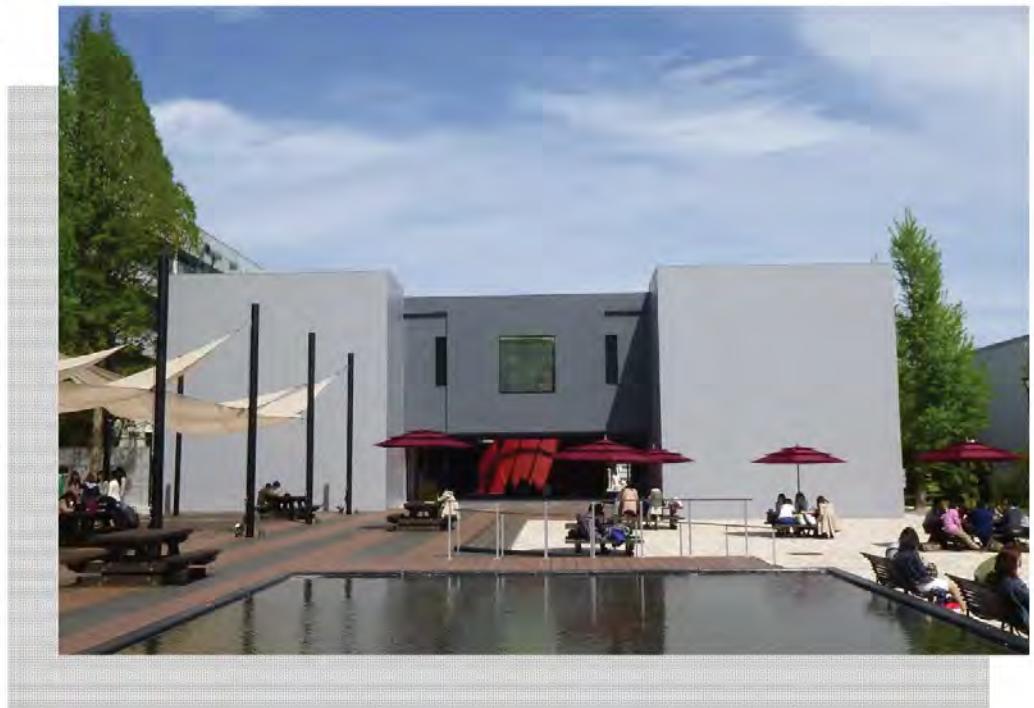
構造：鉄筋コンクリート造2階建
(第一・第二とも)

延床面積：

美術第一実習棟 1,113.16m²
美術第二実習棟 1,000m²

美術第一実習棟は昭和45年に、
美術第二実習棟は昭和55年に建設
されて以来、本質的な改修を実施し
ていないため、耐震補強及び建物
内外部の機能向上を兼ねた改修を
実施した。機能面の向上だけでなく、
デザイン面でも【美術館】をイメージ
したシンボリックな建物とした。

外部空間においては、ウッドデッキやシェードネットの設置や鑑賞池の改修で学生同士のコミュニケーションを促す工夫をし、屋外美術作品の展示場や野外音楽演奏のステージ等、まわりの建物(音楽棟、美術実習棟など)の特性を活かした整備としている。

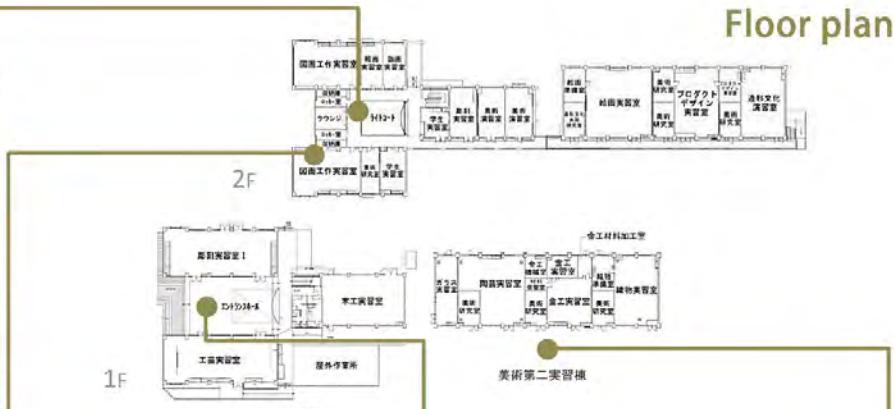


Top Light



トップライトからの自然採光を考慮した色合い

Floor plan



Lecture Rooms



「木の質感」を存分に活かした学習環境

Entrance Hall



Exterior



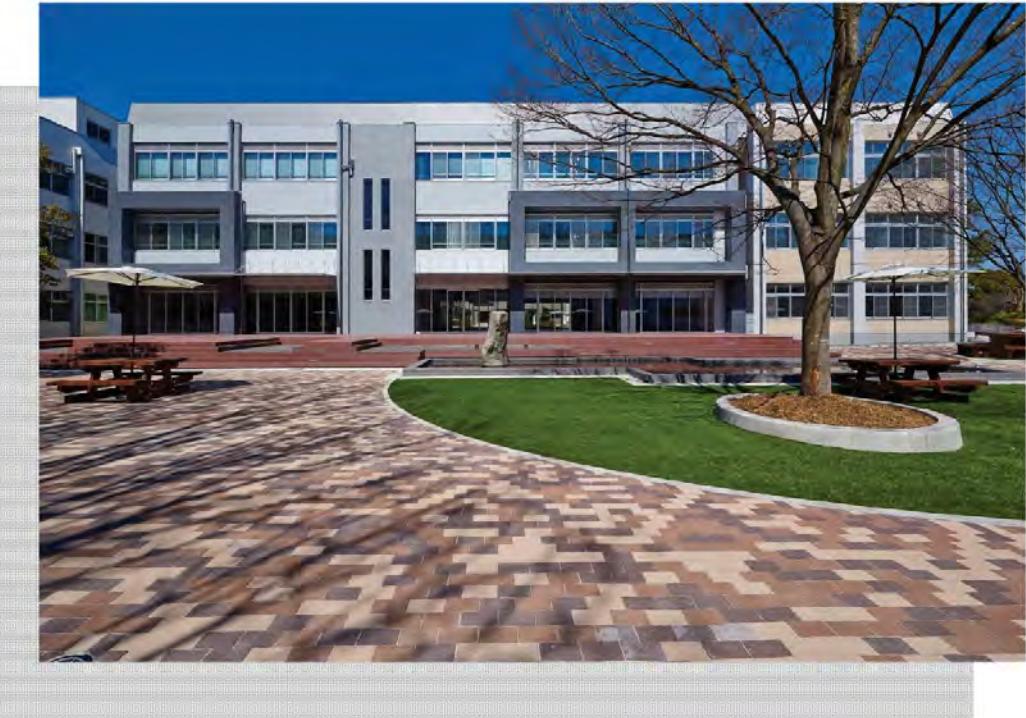
教育交流館



構造: 鉄筋コンクリート造3階建
改修面積: 1,798.20m²

耐震改修と併せて、学生・教職員の「交流エリア」として建物の内外を活かすことを目的に整備した。1階を自由に往来できる通路(パーサージュ)整備することで、人の流れを集め交流を活性化させた。

また、1階を学生の自律的・自発的な学習を促すためのラーニングコモンズのスペースとしており、多様な学習環境の確保も実現している。



Passage



南北を繋ぐパーサージュを新しく整備し、屋外パブリックスペースの活性化を図った。

Learning Commons



自律的・自発的な学修を促すラーニングコモンズを整備。

Floor plan



Sustainable Design



太陽光発電により、自然エネルギーを活用し CO₂削減に貢献する。10KWの太陽光発電を設置。

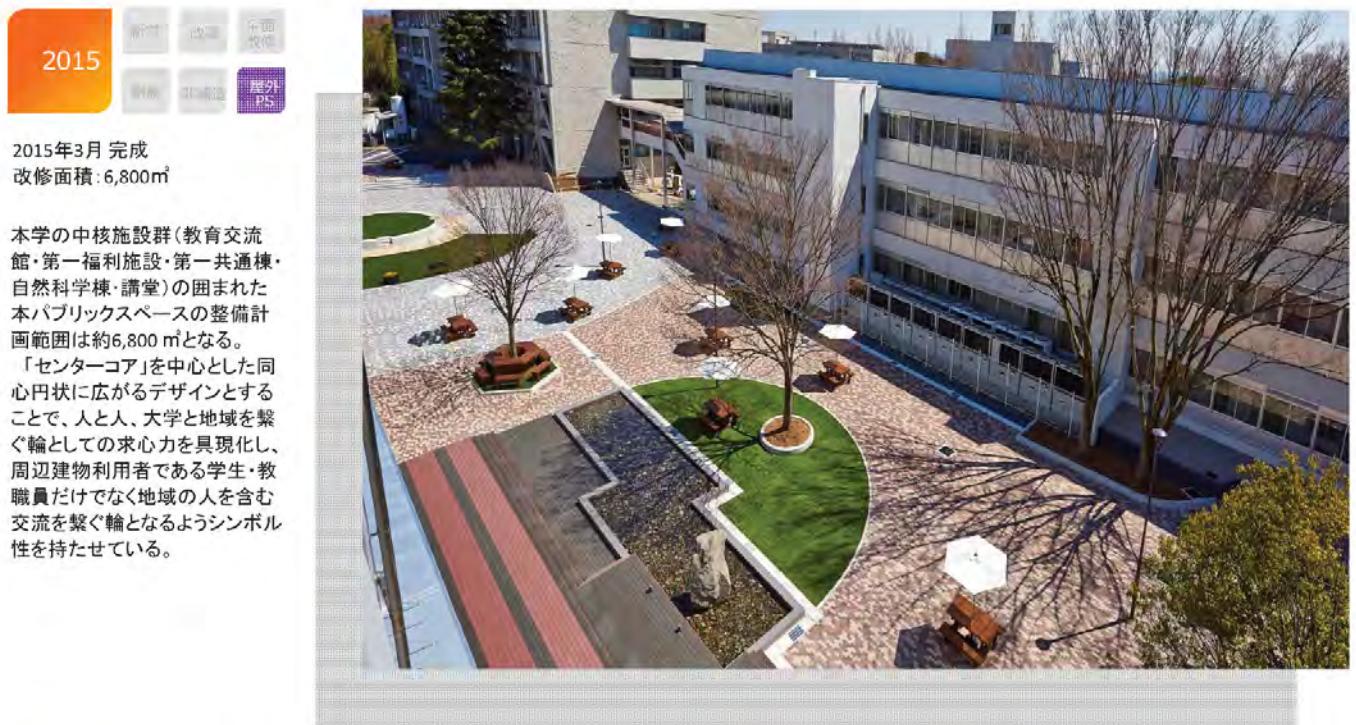


高効率空調機を採用した。また、空調デマンド制御を取り入れ省エネと快適性の両立を図った。



ユニバーサルデザインに配慮しつつ、トイレの正面に立つと前後の壁にデザインされているサインが重なるように見せ方を工夫した。

AUEスクエア



Overhead view



ツリーテーブル
既存の高木を囲むようにテーブルとベンチを設けることで、自然との調和を図りつつ、集いの場を創る。



周辺建物との連動・活用
大学中央に位置するバックスペースとして周辺建物との連動や、学内行事でのステージやイベント会場としても活用が見込まれる。

凡例

■ インターロッキング(広場)	■ 人工芝
■ インターロッキング(通路)	
■ ウッドデッキ	

Before



After



附属図書館



2017年8月 完成
改修面積: 3,853m²

教育大学として高機能が求められる図書館には、グループスタディコモンズとプレゼンテーションコモンズを併設した。学生たちの交流や活動を促し、情報・書籍・教科書を用いて、学生達が自ら目的にあった学修ができる機能を携えた。

緑豊かな教育の森に佇む森の図書館をイメージし、在学生、地域の方々、大学を志す高校生の憩いの場として設定した。

館内にはイベントスペースを設け、「アイ&スペース」という愛称が名付けられている。



静
エリヤ



自習エリア



研究室

3階フロアは「静エリヤ」として開架書架を集約し、サイレントルーム、研究室、自習エリアにおいて、静かな環境での読書や学習、研究が可能。



チエンバレン・杉浦文庫

1階は書庫となっており、古い教科書や地図が貯蔵されています。



Floor plan



2階フロアは「動エリヤ」としてグループ学修エリア、模擬授業ルーム等を設置し、学生たちの自由で実践的な学びを支援する。



グループ学修エリア



情報検索コーナー

模擬授業ルーム



キッズライブラリーを設置し、絵本の読み聞かせが可能。

Before



After



AUEセミナーハウス



2018年5月 完成
延床面積: 203m²

本施設は、1、2階に連続した3つのセミナー室を可動パーテーションで区切り、利用する団体のボリュームに応じてスペースを変えることが可能である。

また、1、2階ともキッチン、洗面、シャワー室を有し、各セミナー室とキッチンを含めた一体の開放空間としても利用することが可能。

学生が活発に活動し、本学での学びを深めるための施設として、学生交流が深まることへの期待が込められる。



2階セミナー室

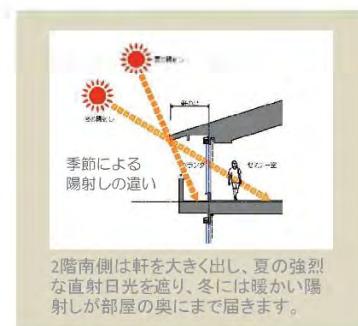


2階セミナー室 開放時

2階セミナー室5



連続した3つのセミナー室は可動パーテーションで区切られ、利用する団体のボリュームに応じてスペースを変えることが可能。



季節による
陽射しの違い

2階南側は軒を大きく出し、夏の強烈な直射日光を遮り、冬には暖かい陽射しが部屋の奥にまで届きます。

次世代教育イノベーション棟



2019年4月 完成
延床面積: 462m²

老朽化してほとんど使用されていなかったボイラー室の内外部改修を行い、次世代教育イノベーション棟へコンバージョンすることで、不足している教育・研究スペースを創造した。

「アクティブ・ラーニング」や「小ホール」など使用目的に合わせて、多目的に活用できる施設とした。

外壁は部分的にカラーパネルとすることにより、建物全体にアクセントを加えてシャープな美観を創り出している。



ホール(大空間利用時)

Floor plan



ホールは様々な使用形態に対応できるよう可動間仕切を設置し、1室、2室、3室利用を可能にし、学び方に柔軟に対応できる空間とした。大空間として利用する際は、天井面のロールスクリーンを開閉し、使用形態に併せて室の雰囲気を大きく変える。スライディングウォールでホールを2室～3室に小部屋割にして利用することができる。

既存木と既存レベルを利用したステージ状のデッキテラスは軽運動ができるスペースを確保し、様々な使い方ができるよう配慮した。



外観



エントランス



地域運営リカレント室1

Before



After



教育・人文棟



2019年5月 完成
延床面積: 4,765m²

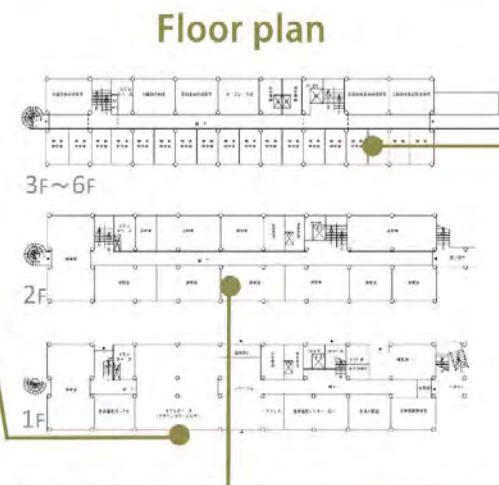
今後の改修のモデルケースとなるよう個性を持つつも周りと調和するような落ち着いた空間デザインとしている。建物中央にはラーニングコモンズと図書館前広場と北側外部空間をつなげるバージュを設けることで建物周辺一帯の空間の価値を向上させている。

交流空間にはホワイトボード壁を設置し、議論や勉強の場としての使用を想定し、新たな考え方や価値の創造を促している。

複層ガラス、LED照明、インターロッキングの使用により建物の省エネルギー化を図っている。



ラーニングコモンズと図書館前広場と北側外部空間をつなげるバージュで建物周辺一帯の空間の価値を高める。



COLOR DESIGN



外観は灰色を基調とし、要所にアクセントカラーを散りばめて個性を持つつ周囲と調和するデザインとした。



国際教育棟



2020年3月 完成
延床面積: 1,425m²

本施設は、職員宿舎を耐震改修と併せて、1階から3階を外国人のための日本語教育支援センター、4階と5階を留学生と日本人学生の混住型留学生宿舎へ用途変更し再生する「コンバージョン」により、多文化体験の場や留学生、外国人のための日本教育の場として活用した。

日本語教育支援センターでは、和室や和ダイニングを設け外国人に日本文化を体験する環境を整備、混住型留学生宿舎では、シェアハウス型とし学修や交流しやすい環境を整備している。

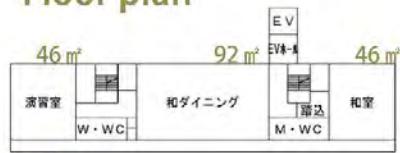
また、1階のラーニングコモンズⅠは、オープンデッキと一緒に活用できるため、外国人や地域の方が親子で遊びながら学修できる子育て支援スペースとしても活用することができる。

南面



木目を基調にした和みと交流しやすい内装とインテリア

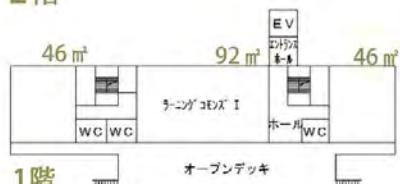
Floor plan



3階

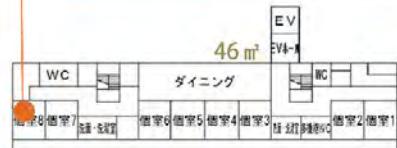


2階

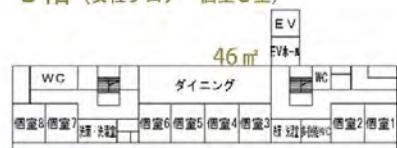


1階 オープンデッキ

個室 12 m²/室
ベッド・学習机・収納棚
エアコン・Wi-Fi環境整備



5階 (女性フロア 個室8室)



4階 (男性フロア 個室8室)

Before



(改修前)職員宿舎 居間



(改修前)職員宿舎 キッチン

After



(改修後)4・5階共同キッチン・ダイニング



(改修後)4・5階 個室
ベッド 学習机 収納棚
エアコン Wi-Fi環境整備

自然科学棟, 共同演習棟



2021年6月 完成
延床面積: 11,160m²

本施設は、大学内で最も規模の大きい建物で、AUEスクエアに面した本学を印象づける建物の一つであり、隣接している演習棟を含めて全面改修を実施した。

本施設の1階では、AUEスクエアを中心として周辺建物（第一福利施設、第一共通棟、教育交流館）との一体的利用を促し、共通スペースを多く確保している。教員だけでなく学生同士も共同利用できるラーニングコモンズに加え、スペースチャージの対象とした共同実験実習室、地域の子どもたちが科学を身近に感じるイベント「科学・ものづくりフェスタ」での地域貢献活動の場として活用するコモンスペースを整備した。

また、2階から5階では、モジュール化した教員研究室に加え、実験実習の変化に柔軟に対応できる実験実習室や教員同士や学生が、議論や交流スペースを適所に配置し、新たな考え方や価値の創造を促している。

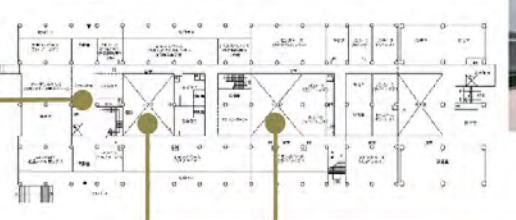


1F



エントランス

Floor plan



中庭（オープンテラス）

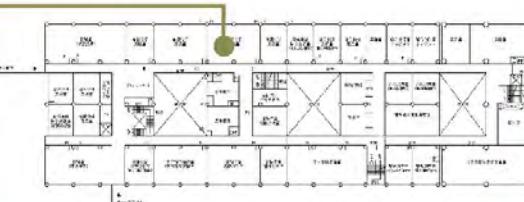


建物に囲まれた中庭（オープンテラス）はウッドデッキを敷きだれものが利用したくなるよう、ベンチや人工芝を整備している。

2F
5F



実験室



5階 オープンスペース

COLOR DESIGN



愛知教育大学のロゴマークに使用されている青色と、アクセントカラーに黄色を使用した。灰色を基調とし周囲と調和し、統一感が出るようデザインした。

OTHER



演習棟

Before



After



美術・技術・家政棟



2022年1月完成
延床面積：4,286m²

築後約50年と老朽化が経過した本建物を全面的にリノベーションし、本学の美術教育、技術教育、家政教育の専門教育にかかる実習室の高度化を行った。実習室は集約を図り共同利用スペースを確保、現教員数に合わせた「教員研究室」並びに「専門領域実習室」、スペースチャージ等に活用する「プロジェクトスペース」を整備、学生の学修環境の充実を図るために、各階に「ラーニングコモンズ」と1階に企画展など多目的に活用できる「地域貢献ギャラリー」を整備した。

隣接する美術・技術実習棟との関連性を深め、ウッドデッキにて屋外で一体的に接続した。



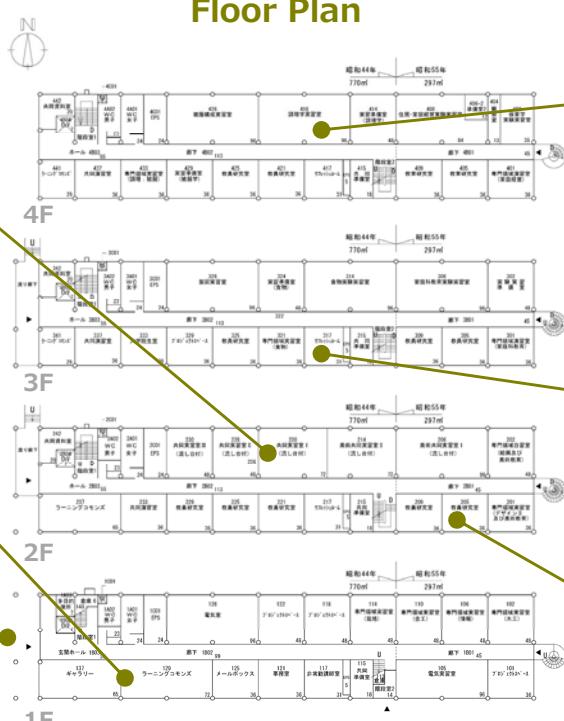
実験室は、換気対策を優先し、換気がしやすい連装の引違い戸を採用。網目の細かいステンレス製の網戸を採用し、害虫対策など衛生面にも配慮。



本建物は隣接する共同実習棟と比べ奥まっており、改修前のエントランスは薄暗いイメージであった。改修後は正面が分かり易いデザインとし、木々の多い本学を象徴するアースカラーを多く使用して、アクセントカラーを緑とすることで周辺環境との調和を図った。



Floor Plan



ゆとりのあるレイアウトとなる調理室と調理準備室をバースルーカ冷蔵庫で一体化し、作業動線の効率化、調理物を廊下を通さずに移動することで、「食」の安全性を最優先した。



Before



保健体育棟、養護・幼児棟



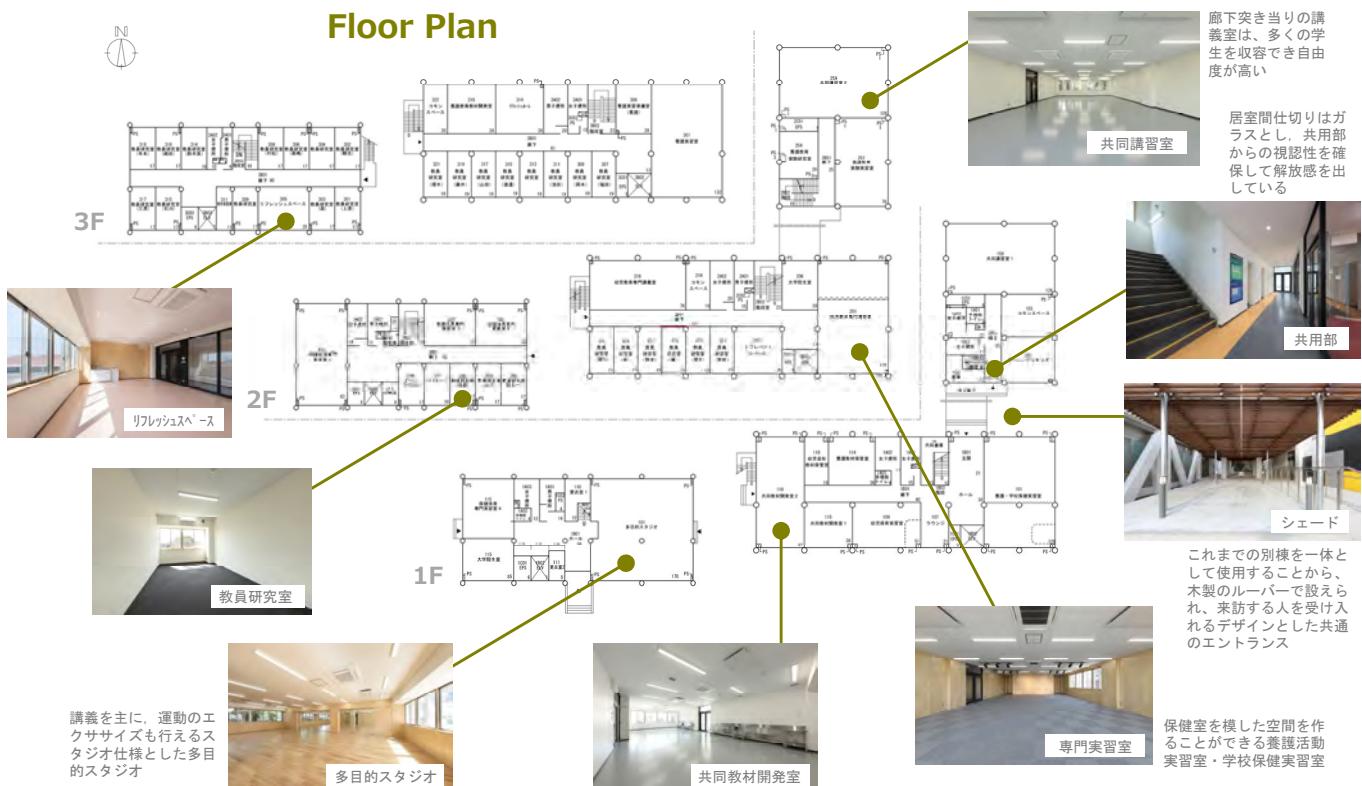
2022年3月完成
延床面積：1,176m²（保健体育棟）
2,248m²（養護・幼児棟）

築後約50年と老朽化が経過した中小規模の建物群（保健体育棟、養護・幼児棟（旧養護教育1・2号棟））を全面的にリノベーションし、本学の養護教育、幼児教育、保健体育教育の専門教育にかかる実習室の高度化を行った。実習室は集約を図り共同利用スペースを確保、現教員数に合わせた「教員研究室」並びに「専門領域実習室」、スペースチャージ等に活用する「プロジェクトスペース」を整備した。

養護・幼児棟は木製ルーバーのシェードを建物間に整備、建物の関連性を深めて一体的な接続とした。



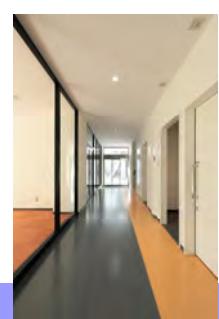
Floor Plan



Before



After



(大幸) 附属幼稚園園舎



2022年3月完成
延床面積：559m²（北棟）
323m²（南棟）
156m²（西棟）

本学附属幼稚園は大正14年創設以来、幼児教育の実践研究を行い愛知県の幼児教育関係者に向け情報発信しつつ、「地域のモデル園」として公開保育や研究協議会等を積極的に開催してきた。建物は経年44年と老朽化が進み、改訂版「幼稚園教育要領」や「幼稚園施設整備指針」に対応した地域のモデル園としての役割を果たすため、全体的にリノベーションを図るとともに西棟を増築し、教育研究環境を大幅に改善した。

また屋外は建物群を一体的に運用し屋外での園児の活動をサポートするための大屋根を新設し、イメージアップも図った。



Before



After



音楽棟

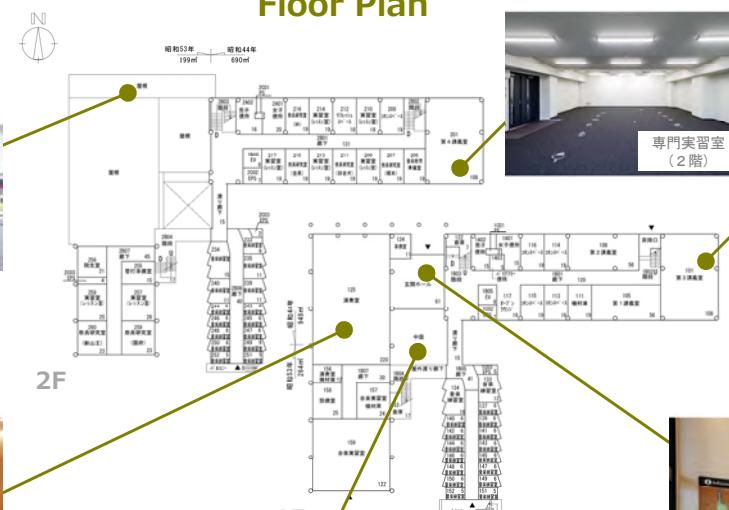


2023年3月完成
延床面積：2,101m²

築後約50年と老朽化が経過した本建物を全面的にリノベーションし、本学の音楽教育にかかる実習の高度化を図った。1階の実習室は集約化し共同利用スペースを建物中央に確保。演奏室はコンサートホールを模してこの建物の象徴となり、内装の木質化により温もりが感じられる音響空間となった。建物玄関（エントランスラウンジ）の天井はヴォールトとして西洋建築物を模することで高貴な芸術性を醸し、音楽への探求を誘っている。中庭はエントランスラウンジと一体的空間とし、建具を全面開放して屋外演奏会が実施できる。2階の教員研究室と実習室（レッスン室）は交互に配置することで実習の効果を最大化できるようにした。



Floor Plan



専門実習室（2階）



演奏室

内装の木質化と間接照明の計画により、木の温もりが感じられるあたたかな空間になった。
舞台照明及び一般照明を改修し、演奏室利用と教室利用のどちらも行える設えとなっている。
内装は天井・壁の傾斜により反響を調整することで演奏室として必要な音響性能を確保した。



中庭

外部と合わせたデッキが玄関ホールから中庭へと続き、建具を全開放することで、外と中の連続性をつくりている。中庭には、柔らかな光を放つベンチを設け、開放感のある生徒の憩いの場として活用できる。

ホール



ホール

ふわふわリズムを刻むような天井は、柔らかな間接照明を出し、玄関ホールを包み込む。
玄関ホールから各諸室へはスロープを設け、バリアフリーに配慮。エレベーターを新設し、上下階の移動も円滑に行えるようになった。

Before



After



井ヶ谷団地 ユニバーサルデザイン整備状況



BUILDING
RENOVATION
— AND NEW
CONSTRUCTION
REPORT
2014-2022



BUILDING RENOVATION AND
NEW CONSTRUCTION REPORT
2014-2022

2023年4月発行 企画・編集：施設課

完成建物の紹介

<https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/facilities/tatemono.html>



国立大学法人
愛知教育大学
Aichi University of Education

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1

<http://www.aichi-edu.ac.jp>

TEL:0566-26-2153